

一般質問発言通告書

発言順位	4番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 4年 9月 6日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 3 番 村田 耕一

質問事項 1	防災力向上
具体的内容	静岡県は全域が南海トラフ地震防災対策推進地域となっており、当初は東海地震が予知可能とされていたが、近年、確度の高い予想は困難との考えが示され予知情報や警戒宣言の発表はなくなりました。一方南海トラフ沿いで観測される異常現象を評価して発表される南海トラフ地震臨時情報の運用が令和元年5月31日から開始されている。また地震のほかにも水害等の危険性が高まっている中で防災力の向上に向けて以下に伺う。 1 南海トラフ地震臨時情報の認知度向上の必要性 2 災害発生時トイレが最大の課題であるが、国はマンホールトイレ整備補助金を来年度予算に盛り込み強化するとしている。そこでマンホールトイレ設置状況と整備拡充について伺う。 3 富士市、西伊豆町に配備されているトイレトレーラーを三島市でも導入すべきではないか。 4 これからの公園の防災機能整備 5 富士、富士宮市で販売されている断水時に自宅で使用する簡易トイレシート 100 回分セットがあるが三島でも購入啓発ができないか。
質問事項 2	不登校児童生徒のための多様な教育機会
具体的内容	全国の小中学校で2020年度に不登校だった児童生徒は前年比8.2%増の196,127人となり8年連続増加で過去最多となる中、国では不登校特例校の設置推進を目指すことが基本方針に明記された。不登校特例校とは、子どもの状況に合わせた柔軟な授業カリキュラムなどを組むことができ、2022年4月時点で全国10都道府県で21校設置されその取り組みが注目されているが、三島市でのこの不登校特例校ともう1つゆる部活動についての見解を伺う。 1 静岡県では不登校特例校の設置はまだなされていないが多様な教育機会の確保という点から三島市で不登校特例校の設置の検討を始められないか見解を伺う。 2 泉大津市で合同ゆる部活動としてダンス、ヨガ&体操、トレーニング、レクリエーションが行われているが活動の機会として検討することはできないか。
質問事項 3	带状疱疹ワクチン接種費用助成制度
具体的内容	令和3年度11月議会で一般質問が行われた带状疱疹ワクチン接種費用助成について市民の方からのお声をいただき、再度その導入に向けて見解を伺う。 その答弁中にこれから高齢化が進み、今後ますます罹患者が増大する見込みの中で、激痛をもたらすこともある带状疱疹を予防することは意義のあるものであると考えているとある。症状は3〜4週間続き、皮膚症状が治った後も痛みが残ったり、後遺症が残ることもある。ぜひとも助成をお願いしたく伺う。 1 带状疱疹ワクチンの定期予防接種化について国で審議中でまだ定期接種が認められていないから、また費用が膨大になるから、さらに接種実績が対象者の1%であったから導入できないとの答弁だったが、令和4年度になり愛知県では大府市、蒲郡市、稲沢市などで助成が開始されており、市民の方の要望に応えられないか。